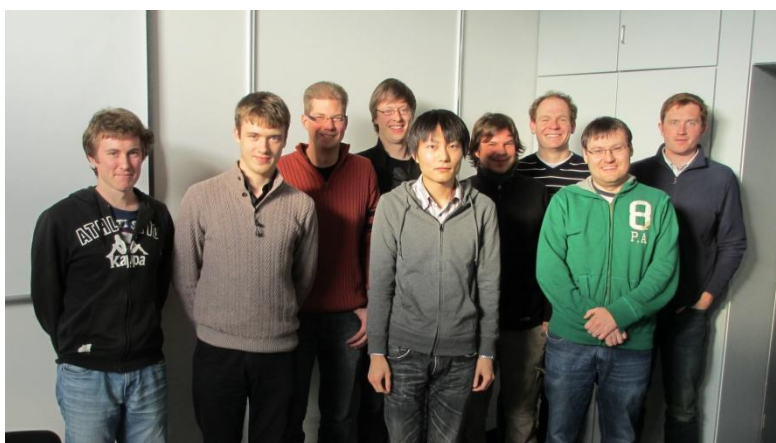


初の海外 - 充実した 2 週間
化学専攻 博士課程 2 年 森本裕也

化学反応のムービーを撮影する。これは物理化学における大きな夢の一つである。この課題に独自の手法で挑んでいるのが、ドイツにあるマックス・プランク量子光学研究所、Krausz 研究室のサブグループのリーダー、Peter Baum 博士である。

2012 年 11 月 25 日（出国）から 12 月 8 日（帰国）までの約 2 週間に渡り、私は Baum 博士のグループを訪問した。私にとって初めての海外の研究室訪問であった。訪問の目的は、Baum 博士らが開発した、「単一電子パルスによる超高速電子回折法」に付随する実験手法の研究であった。グループの皆様は非常に親切で、平日は夜遅くまで、土曜日にも休日返上で実験を行い、実験技術を詳らかに教えて下さった。

訪問期間中には、Krausz 教授の研究室セミナーで、私の研究内容を発表する機会を得た。セミナーでは光学の専門家の方々から多くのご助言を頂いた。また、その後の日曜日に、発表を聞いて下さったという研究者の方に街中でお声掛け頂き、議論を行ったことも、印象深い思い出の一つである。



Baum 博士のグループの皆様との集合写真（筆者は中央）